

上士幌町

開町80年

80th Anniversary

シリーズ
7

かみしほろの歴史を振り返る



▲馬頭さんツアー（平成15年）
音更川の流送調査▶
(平成10年頃)



「上士幌町には、たくさんのが『地域の宝』が眠っています」と語ってくれたのは、現在、「地域の宝さがしの会」で会長を担う伊東昭二さん。

平成9年、「地域の宝を後世にしつかり残したい」という想いが会を発足させた。きっかけは、町民講座「タウンカラッジ事業」に参加した人たちが「自らが情報を収集、発信し、多くの方に伝えることの大切さを強く感じたため」でありました。

「町の産業遺産である旧国鉄士幌線アーチ橋梁群の保存活動は、この会の活動から発展したものなんです」

平成7年頃から旧国鉄士幌線の廃止に伴うアーチ橋梁群の取り壊し計画に対して、貴重な文化資源をこのまま壊してもよいものかという問題提起がなされた。当時、「地域の宝さがしの会」がアーチ橋梁群を上士幌町の歴史的文化資源として再認識していたことから、平成9年に住民有志らによる「ひがし大雪アーチ橋保存会」を結成し、その中心組織として保存運動を開いた。現在は、国の登録有形文化財に指定されたものやアーチ橋梁群が北海道遺産に指定されるなど、多くの観光客を魅了している。

「一番最初に冊子としてまとめたの

Kamishihoro

今年は、昭和6年に当時の士幌村から分村してから80年となる記念すべき年です。主にここ20年の出来事をインタビューとともに振り返っていきます。

は、『上士幌の馬頭さん』というもので、北海道教育大学旭川校の先生や生徒が協力してくれました。また、NPO法人とかちシニアネットの仲間が原価で冊子にしてくれました。

馬頭さんは、馬の神格化によつて出来た馬頭観音のこと。馬頭観音は6馬の供養・感謝のために祀られていたものであり、上士幌には50体ほどある。

「実は、『地域の宝さがしの会』が最初に始めた調査は、音更川の流送についてでした。たくさんの人たちによって調査と編集がなされ、平成22年に発行することができました」

調査書は、編集から発行まで2年以



インタビュー
いとう
伊東 昭二さん

昭和10年生まれ。教師として、昭和29年に萩ヶ岡中学校に奉職したことがきっかけで、昭和47年に上士幌町に転入。地域の宝さがしの会は、発足当時より役員として在籍し、現在、会長を担う。NPO法人とかちシニアネットなど、多くの地域づくり団体に所属し、地域活性化にご尽力いただいている。

できるかぎり地域の資料を
後世に残していきたい



上の歳月がかかつた。
その他にも「開拓時代の思い出」「十勝三股物語」「勢多鉱山盛衰記」など調査書を10編以上制作してきた。

これまで本当にいろんな人に協力をいただきました。インタビューしていく中で、話を聴かなければならぬ人がどんどん出てきて、そういうふたん脈をたどっていくことが大変だつたりもしましたが、楽しみでもありました」と伊東さんは語られた。

また、「現在調査に取り組んでいるのは、上士幌アイヌの文化と歴史についてです。これからも上士幌の資源や歴史を多くの人に伝えていきたいと思っています」

これまでに編集された冊子の一部は、町図書館でも閲覧、購入することができます。

廣

平成23年9月末現在の人口

男 2,498人(先月比+4人)
女 2,645人(先月比-2人)
計 5,143人(先月比+2人)

世帯数
2,338世帯(先月比+4世帯)

寄付

►座間市の黒島大元さんは、9月7日に第三音更川橋梁の保全資金として金1万円を寄付されました。

►名古屋市の空田誠介さんは、9月15日に町の振興資金として金1万円を寄付されました。

►東京都の原島義夫さんは、9月15日に町の振興資金として金1万円を寄付されました。

►大阪狭山市の森谷行治さんは、9月28日に町の振興及び移住定住・二地域居住推進資金として金5万円を寄付されました。

►東京都の小林正信さんは、9月28日に町の振興資金として金1万円を寄付されました。

►宮坂・川田・橋内特定建設工事企業体は、10月4日に上士幌中学校校舎改築工事竣工のお祝いとして空撮写真4点を寄贈されました。

上士幌町民憲章

- 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

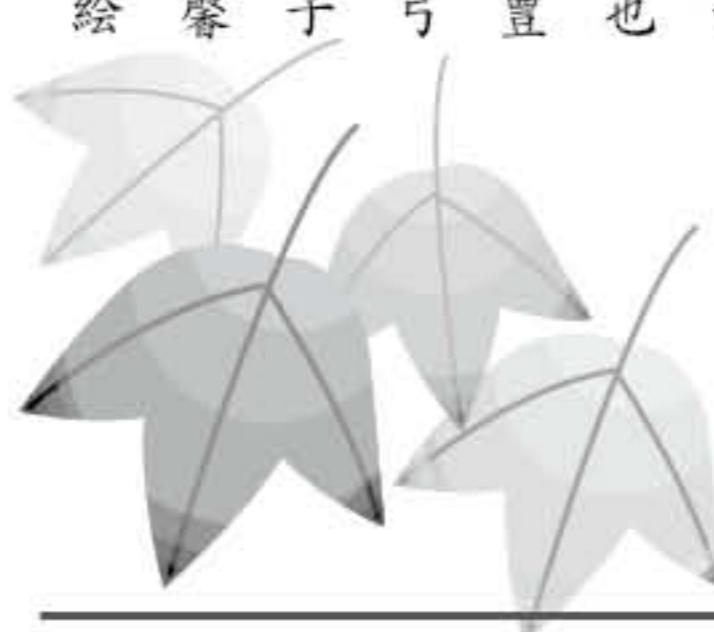
川柳

うす味を大事にしつつ命の火
秋深し枯れ葉踏みつつ散歩する
冬迎え花壇片づけホッとすると
懐かしき職場が廃墟涙ぐむ
楽しいなサ。ポートセンターもの作り
僕にでもできる仕事が見つからず
秋空に夕日が照らす紅葉かな
紅葉が傘寿祝うて門に来る
放し飼いのようでも首輪外されず
天災に人災すき込む無駄な金

忙しき日々の生活に埋れるて思考の時を持たざる吾か
一つ事成しし安堵に出でし朝烟一面のひまわりの花
豊かなる東北に未曾有の地震津波原発の被害テレビに見入る
夫の書棚夫病む前の三年日誌十五冊ならぶ続けしを思う

短歌

桜	白	坂	米	鈴	高	小	米	八	重	櫻	田	中
石	田	森	木	木	池	森	池	櫻	櫻	博	咲	子
花		い	さ	真		誠		由	希	樹		
絵	馨	き	子	弓		也		子	子			



編集後記

紙紅葉もピークを迎えました。紙朝、名犬との散歩時に、冷たい風に揺られた紅葉を見ることができます。もともと穏やかな私の心をさらに穏やかな気持ちにさせてくれます。紙家の庭にも紅葉がほしくなった今日この頃です。(…A)

紙めっきり朝が寒くなってきましたね。毎朝、布団から出るのがおっくうになってしまった。紙これまでの時期、インフルエンザやRSウイルスなどが流行します。紙外から帰ってきたら、うがい、手洗いを欠かさないようにと、娘にも言っています。紙それともう一つ。娘に緊急時の119の電話方法を教えていきます。(もしかして来月…K)

広報

がみしほろ 12月号は 11月25日(金)発行予定